

# 銀色の道

## 「智」と「心」

塾長 山田勝登

### Vol. 16のトピックス

★中間テスト

★OK! 学習法

★学志舎通信番外編

★編集後記

こんにちは。久々の「銀道」です。

今年も後残すところわずか。皆さんにとって今年はどうな年でしたか？

さて、後期中間試験も11月に終わりました。今回初めての「朝学習」を実施したところ、多くの生徒が参加してくれました。そのせいか塾としてはいい結果が残せました。上がった生徒が多かった、と言うことです。

自己最高をたたき出した生徒。納得の行く成績を残した生徒、様々ですが、大切なことは、あまりよくなかった生徒の場合、過去に引きずられないこと。そして、間違った問題を大切にすること。

終わったことです。かつてはチェックシートに反省欄がありました。今では、「次に向かって」という欄に変更しています。それはなぜか？過去と他人は変えられないのです。

変えられないマイナスの過去に引きず



られていては、未来に向かうパワーが損なわれるのです。だったら、明るい未来に向かって、輝くようにするためにどうするかを考えた方が、次の一歩がスムーズに出るんじゃないでしょうか？

「反省」と「未来に向かって実行すること」は、たとえ内容は同じようなことになっても、実行するときの姿勢が異なります。「失敗しないためには」と「成功するためには」では踏み出す最初の一步の気分、そう楽しさが違うでしょ？

上の写真を見てください。この試合で同点の最終回表、私の何でもないエラーをきっかけに、5点を入れられました。その裏ノーアウト1、2塁で打順が回ってきました。エラーの悪いイメージを引きずっていたんですね。結果はあなたの推測通りです。良くないイメージを引きずったままの状態でもいい結果が出るはずがありません。

振り返るなどとは言いません。良いイメージの未来に向かって、思考をフル回転させましょう！そのほうがいいでしょ。「銀道 vol.16」発進します。

## ◆中間テスト◆

初めての朝学習。これは兵庫県の伊丹市で塾をやっているI先生が推奨していました。朝学習をやるようになって、成績が伸びた！って。

朝学は何のためにするのか？

生徒には言いましたが、試験前にはワークテストを実施しています。そして、間違った問題には赤チェックが入っていますよね。その最後の詰め、直前に間違った問題を再チェックするのが朝学です。

学志舎最初の朝学は11月15日、まだ真っ暗な5時、本荘中2年のTさん、から始まりました。家が遠いTさん、お父さんが車で送ってきました。

事務長は当初、味付きのオムスビの方がいいだろうと、ふりかけ、鮭やワカメや青菜の混ぜご飯の元を用意していましたが、Tさん、シンプルな「銀シャリオにぎり」をリクエストしました。それに海苔を巻いていましたね。



以降、混ぜご飯と、銀シャリオにぎりを最後の26日の東長良中まで、事務長は4時過ぎに起きて作り始めるようになったのです。最終の東長良中まで、6校の中学生が、朝学に参加してくれました。

今回もテスト問題を見ると、ワーク、教科書からそのままの問題が、数字がちょっと変えてあるだけの問題が、多く出ていましたね。長良中1年の国語などは、おそらく学志舎しか使ってないワークからそのままそっくりの問題も出ていました。



ワークテストをきちんとやれば、必ず400点は取れます。ワークテストが最低限の試験前の学習だと、肝に銘じてやりきって下さい。やれない生徒、早くスタートを切ってください。

注意事項は一点。答え覚えをしないこと。例えば、英語の穴埋め問題なら、答えの隣が空白になっていても、きちんと答えられるようにすることですね。

では、今回ついに目標の450点の壁を破った、中央中2年のH君の感想をどうぞ。

僕は、今回のテストで、2つのことを意識しました。

まず、一つ目は「自分の苦手な教科や単元を見極めて、それらを特に学習する」ということです。僕は今まで国語・英語の点数が伸び悩んでいたため、まずそこから勉強して行きました。特に国語の「書く」問題は、自分が苦手にしていただけで、配点も高かったため、塾のワークの問題を繰り返し練習しました。また朝学習では国語をやりました。その結果「書く」問題はほぼ完璧だったし、自己最高点でした。

二つ目に勉強の質を意識しました。質というのは、どれほど自分の力になるか、ということです。ワークテストが終わった後に、塾の教材。全部やっていると時間がないので単元のまとめのところや応用のところを選んで勉強しました。もちろんこの時に間違えた問題は、チェックを付け、解けるまでワークテストのように何度も繰り返しました。ワークテストをちゃんとやれば400点は取れます。より高い点を目指すのであればワークテストを完璧にこなし、新たな問題に積極的に取り組むことが大切だと感じました。

僕はこのふたつを意識することで、目標点を突破することができました。また、今回初めての朝学習はすごくよかったです。今後のテストでも、OK学習法で完璧に勉強してさらに高い得点を目指していきます。

H君ありがとう。壁を破ったあとはどこまで行くのか楽しみにしていますよ！

## ◆OK! 学習法◆

青森県は八戸市、S塾のH先生の学習方法です。簡単に言えば、1冊のテキストを繰り返し完璧になるまでやり尽くす。それには様々なエッセンスが取り入れられているのです。

今年の初め、OK!学習法の検定試験、3級・2級を受験し、合格しました。そして7月、実際に八戸へ行き、S塾の様子を見学させていただきました。

八戸は遠いですね。さすがに本州の最北端の県です。伊奈波通りのバス停を7時半発、八戸13時42分着。

私のブログを見て下さっている方は「はは～ん、あれかな」と思っていることでしょう。そのときの様子はブログで紹介していますのでご覧になってください。学志舎のホームページからでも入れますし、「学志舎」で検索をしていただければ、ヒットします。7月16日に書いています。

添付の地理のテキスト&ノートのコピーをご覧ください。11月23日の1回目は誤答がありOK取りができません。12月3日の2回目で全問正解し青ペンOKを取りました。(テキスト真ん中、ノートの1個目の印は12/3の目付け、押し直し)この時点では、まだテキストはまっさらのままです。23日にテキストに実際に書き込み、最終大きな赤OKを取ったものです。

いかがですか。真っ赤な「OK」っていいでしょう（特注です）。英語のドラゴンもそうですが、基本はあれこれ手を出さないうで、一つのをこれでもか！と言うくらい、完璧になるまで繰り返す、それも時間をかけずにスラスラ解答できるまで。自分の中に完全に落とし込む一つの手法です。そして、「OK」のハンコとコーチの褒めで、生徒を承認します。

予習を中心に進めますから、全部ペケでもいいのです。ただし、予習は応用までは進めません。基本と、確認問題まで。（出来る生徒は応用まで進んでも可）

分からないところがあっても**当然**です。だからこそ、学校の授業が活用できるので。授業を真剣に聞く。質問をする。手があがる。もちろん塾のコーチに聞いてもいいです。「**ペケの奨励**」・・・なんて聞いたことがないでしょ？

間違った所が、成績を上げてくれるポイントなんですよ。ペケは目をそむけることではありません。ペケを大切にすること。だから、間違っているのです。間違いは悪いんだと思うから、間違った所を見たくなくなる・・・そういうものです。

それと 30 秒ルール。1 間に 30 秒以上かけない。だから集中できます。30 秒かけて、答が出てこなければ、解けそうだと思えなければ次の問題に進む。だから、90 分で何ページも進みます。実際にテキスト 10 ページも進んだ生徒もいます。「OK」取りの楽しさと、勉強量の増加を感じてもらえま

す。

もう一つ。これには専用ノートがあります。これは非常に使いやすいです。

現在、お試して無料で使ってもらっています。1 月より、1 冊 200 円（原価そのままです）でお分けいたします。よろしくお願いたします。

尚、これに付随して、採点用の赤ボールペンを塾から無料で配布します。ガンガン使ってください。ノートを使うたびにカードポイントを 1 ポイント、赤ボールペンの芯を請求するたびに 1 ポイント生徒につけます。勉強すればポイントがより増えるようにします。

変わることで、エネルギーが要ります。今までと同じって楽です。昨日までのままでまた明日もって、楽でしょ？

新しいものが好きな人、変わることに何れもストレスを感じない人はいいでしょう。しかし、普通は多少なりとも感じますよね。それにいかに対応できるか。

冬プロでも書きましたが、かのアインシュタインは言いました。

『進化の過程で強いものが生き残ったのではない。変化に対応できたものが生き残った』と。

ただ変わるって言っても、この「OK！学習法」の場合、完璧になるまで何回もってという至極当たり前のことを、スピードアップしてやっただけなんです。完璧になるまで何度もやるから勉強量は相当増えます。でも、やってる時には、本人がそれ

ほど感じないかもしれません。あとからノートの枚数を見て「え～こんなにやったの！」って思うんでしょうね。

現在生徒にアンケートをとっていますが、今出ているだけでも、すこぶる好評です。ご覧ください。

#### 中3女子

- ・OKを取れたときの達成感がある。
- ・自分の苦手なところがどこなのかが分かり、そこを分かるまで解き直すことができる。
- ・OKを早く取りたいため、間違えた問題の解き方を早く覚えることができる。

#### 中2女子

- ・OKをとるのが楽しいから、今までよりも頑張れる。
- ・OKノートはたくさんやるほど達成感があるから、昨日よりも頑張ろう、やる気になれる。
- ・OKノートはマスが大きいから書きやすいです。

#### 中1男子

- ・OKになるとうれしいので続けることができる。
- ・間違ったところをしっかりと直せるので、しっかりと理解できる。

#### 中2女子

- ・わからないところをそのままにしないで、分かるまで何度も取り組める。

#### 中1男子

- ・自分のできているところ、できていない

ところがはっきりOKでわかるから、苦手をなくすことができる。

#### 中1男子

- ・分からないところがあると、OKをもらう時に先生に積極的に聞ける。
- ・分からない所を先生が質問してきて、自分の弱いところが見つかる。

#### 中3男子

- ・1ページごとにしっかり見直せる。

#### 中1女子

- ・自分がちゃんと分かるまで教えてもらえる。

#### 中2男子

- ・OKをとろうと思って、×の部分もなくそうと勉強が進む。
- ・OK判子をおしてもらおうとやる気が出る。

#### 中2男子

- ・自分の分からない問題、苦手な問題はどれなのかひと目でわかる。
- ・その問題が分かるまで何度も解くことで、苦手なものでも覚えられる。
- ・何回もやって、やっとOKをもらえた時のうれしさが、次の学習をするときの力になっている。

#### 中2女子

- ・OKもらったときめっちゃうれしい！！

#### 中1男子

- ・OKを取るとやる気が出てきて「よし、解こう！」という気持ちになる。

#### 中1男子

- ・1ページ完璧じゃないとOKをもらえないので、単語や公式も完璧に覚えること

ができる。

中2女子

- ・前の学習方法ではダラダラとやってしまう時もあったけど、OKにしたら問題を解く時間が早くなり、わからなかった問題がよくわかるようになりました。

中1女子

- ・わからない問題を飛ばして後でじっくり教えてもらえるのでよくわかるようになるし、先にどんどん進められる。
- ・OKハンコが増えていくのが楽しい。
- ・OKが取れなかった時にやる気が出る

中2女子

- ・授業中が静か
- ・たくさん進められる

中3男子

- ・むづかしい問題を飛ばすという作業を今まで中々許せなかったなので、分からない問題に長時間使ってしまうことがありました。しかし、30秒考えてわからなかったら飛ばすというルールができたためスラスラすすむようになりました。

以上アンケートより。

### ◆学志舎通信番外編◆

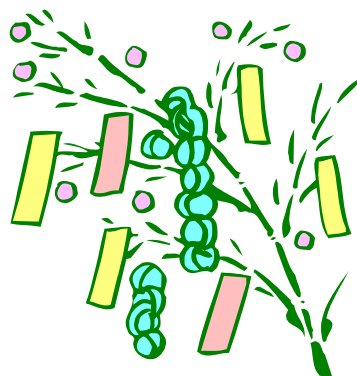
先日今年の学志舎通信を見ていました。すると、抜けているものが2つありました。一つは、7月の「七夕大賞」もう一つは10月の「坐禅体験」。

七夕は特に担当を決めていなかったのと、坐禅は今年は参加コーチがいなかったもので、そのままになっていました。よって遅ればせながら、私が担当します。

### 七夕大賞 番外編その1

7月になると、教室には各生徒が願い事を書いた短冊で一杯になった、笹を立てます。

7月7日以降にその中から、コーチが自分の好みで3つを選び、その票が多い順に1,2,3席を決めます。毎年生徒達の手書いていることは、選考用に受け狙い有り、真向勝負有りで見ているとすごく楽しいです。それでは2012年、ずいぶん遅れた七夕大賞の発表です。まずは育真館から。



一席 岐阜小6年 Sさん

「モデルになれますように」

実はSさん、オーディションでおいしいところまで行ったんです。まだまだチャンスはこれからあります。今のうちにサインをもらっておこうかな!?

**二席 岐阜小6年 K君**  
**「ラグビーで岐阜県選抜」**

伊奈波の教室にあるミニチュアのラグビーボール、K君が持ってきてくれたものです。私は野球をやっていますが、スポーツで一番好きなのはラグビー。かつては花園、瑞穂、国立競技場へ試合を見に行きました。それと、一宮のラグビー場へもこけら落としの「神戸製鋼VSトヨタ」の試合をかれこれ20年近く前に見に行きました。

ラグビーのルールがもう少し分かりやすかったら、もっと人気が出るのに…残念です。

K君、ラグビー頑張ってくださいね！



**三席 岐阜中央中1年 M君**  
**「福林先生が社会人になっても頑張れますように」**

はい、大丈夫です。福林先生はしっかりがんばれますよ。お気遣いありがとうございます。福林先生は塾の中では一番長く、学志舎のエースとして頑張ってもらいました。この春就職です。福林先生、初任給でM君に何か買ってあげる？

その他惜しくも選には漏れましたが、  
**付属中1年のSさん**

**「とにかく何とかして下さい」**

キノコの絵が書いてありましたが、内容と絵の関連性がまったく分かりません。しかし、なにか心に感じるものがありますね～。



**岐阜北高校3年 K君**

**「誰か彼女になって！」**

受け狙いなのか、切実なる心の叫びなのか…後者の確率が高いようにも思いますが、青春ですね。大学に入って、可愛い彼女とデートできることを祈ってますよ。

生徒ではないのですが、

**岐阜大学3年 曾我コーチ**

**「たくさん食べても太らないステキな身体になりたい」**

いや～me too！切なる願い。若いときは代謝もいいし、食べても食べても太らなかつたのが…社会人になって、飲んだ後のラーメンの誘惑に負け続け、結婚後は事務長の美味しい料理をたらふく食べ、気付くと20キロも横へ成長していました。

現在ランニングを趣味とし、10キロ減。

ランナーにとって、体重が最大の敵だと痛感しています。

以上、伊奈波 育真館でした。

続いて長良 至誠館

### 一席 長良西小5年 Kさん

#### 「お兄ちゃんと仲良くなれますように」

う～ん、そうなんですか？でもね、夫婦喧嘩は犬でも食わない、というように仲が良い間柄だと、逆に喧嘩もしてしまうんでしょうね。でも、すぐに仲直りするんですよ？

コーチたちに一番受けました。

### 二席 長良高校1年 M君

#### 「正義感の強いヒーローになる」

ん？正義感の弱いヒーローって、いたっけな？？？



かつてのヒーローは正義の味方で、悪を憎み倒すのが相場だと思っていましたが、今の世では違うんですかね？コーチたちの多くの支持を得ました。

### 三席 岐阜高校1年 Y君

#### 「信頼される人間になる」

いや～ズバッと直球を投げ込んできましたね。コーチ方の心をわしづかみ？今でも充分信頼される高校生ですよ！

脳外科の医者になる、という夢に向かって頑張ってください。きっと信頼されるドクターになれるですよ。

至誠館のその他の佳作は

### 長良東小6年 Oさん

#### 「今年も家族が健康でいられますように」

小学生のお星様への願いです、いいですね。なんともほのぼのとしたものを感じます。何よりも大切なもの、それは健康ですよ。それが基本ですべてが成り立ちます。

### 富田高校3年 I君

#### 「塾長のように有言実行のひとになりたい」

なんと言ったらいいのでしょうか、本当はこれを載せたくなかったのですが・・・票をとってるので・・・。

え～フルマラソン初めほとんどのことは有言実行しているつもりですが、この「銀色の道」に限っては・・・前回2月の15号で「これから毎月書きます！」と宣言しているにもかかわらず。10ヵ月間書かかず仕舞いでした。恥ずかしい限りです。あ～穴があったら入りたい。これからは実行します、ごめんなさい。



**岐阜大学3年 田中コーチ****「150センチメートル突破！」**

うん、事務長も同じ思いかもしれませんね。うちの塾で一番小さいのは田中コーチ？事務長？どちらなのでしょう。私は29年前に事務長から聞いた「152センチ」の自己申告をず〜っと信じていました。しかし、子どもが成長して150センチを越えた頃、2cmサバを読んでいたことが発覚してしまいました。

150センチを超えたうちの子が、

「お母さんの方が小さいんじゃない？」

20歳になってから身長が伸びる、てなことはあまり聞いたことがありません。星は田中コーチの願いを聞いてくれたのでしょうか？



以上あくまでもコーチ陣に受けたかどうか、の問題で、「星にお願い」の内容にでき不出来はありませんよ。というわけで、来年の七夕まで！

**座禅体験 番外編その2**

今回で3回目の坐禅体験でした。10月27日（土）初の日帰りで企画しました。入山して作務衣に着替えてまずは研修の心得。そして坐禅、法堂へ向かいます。廊下は下の写真のように叉手当胸をして、右側を歩きます。



法堂では、ローソク1本の灯りの中で坐禅。今回も全員警策をいただきました。あの平たい棒のようなもので、ビシッビシッビシッ！ビシッビシッビシッ！と左右の計6回。TVで見るように後ろからではなく、前からです。



坐禅のあとは齋座（昼食）。  
昼食をいただく齋堂と、禅堂、浴堂（浴室）は三黙道場とって、一切しゃべってはならないのです。  
食事の心得を聞き、食前の読経。



そしていただきました。



ご飯、味噌汁、おかずと沢庵2切れ。  
食事を頂くのにも作法があります。常に相手を思う気持ち。相手に勧めてから自分が頂く。そして食事は命を頂くもの。だからひとかけらも残さず、感謝してありがたくすべてを静かに頂くべし。昼食後は法話。今回も荒木和尚の、生徒にあてた良い話を聞かせていただきました。

「禅には過去も現在も未来もない。在るのは「今」のみ。「今」自分に与えられた役割、目の前の事を全力をもってやるだけ。

今 今 今の積み重ねのみ。」

いかなる時も相手、周りの人、見えない誰かに気遣いと感謝の念をもって行動する。そして、今自分のすべきことを一心に集中してやる。そうすれば、それが次の瞬間に繋がっていく。

奥の深い言葉だと思いませんか。



そして作務。一昨年は庭の松葉拾い。昨年は部屋の掃除。そして今回は草引きでした。1時間の間、ただひたすら地面に向かって、雑草を抜いていました。



それが終わると最後の坐禅。



私事ですが、今回は6月に痛めた頸椎症の痛みと痺れで、坐禅、法話の時間が苦しかったです。

背筋を伸ばしてあごを引く姿勢で、背中・首、左の腕に痛みが。午前中の坐禅の時には痛みで、背中、胸を油汗がっついていました。法話の時もそう、姿勢を正すと首、背中、腕がもうたまらないのです。

昨年、一昨年と坐禅の時は、最初の5分間以外は「無」になっていましたが、今回は痛みとの戦いか?と覚悟しました。しかし、ふと「戦うんじゃないくて、いかに痛みと「和」するか?」という考えが浮かんだのです。そしてその気持ちで臨むことにしました。

するとどうでしょう、もちろん痛みはやってくるのですが、ときおり「無」になれる時間があるではないですか。

不思議でしょ?この経験、何をや言わん。

さて坐禅といっても、お寺の中にいる時間全てが研修なのです。食事にしても、作務にしても、その場にいなければ分からな

いような教えがあります。これは経験した者にしかわかりません。できれば生徒全員に体験して欲しいと思っています。また保護者の方にもぜひお勧めしたいですね。

私自身は1年に一度、京都は宇治のこの黄檗宗総本山萬福寺に行くことが楽しみになってしまいました。

今回は日帰りで行きましたが、本当は一泊がいいんですよ。朝一番の暗い中、ピンと張り詰めた空気の中での坐禅は本当に最高です。過去に行ったことがある高校生はそう言っています。

う〜ん、来年から強制的に行ってもらおうかとホント、真剣に考えています。

というわけで、2年連続で参加してくれた長良高校3年 武藤 誉君の感想です。

昨年に続き、今年は僕にとって2回目の坐禅となった。今年は昨年と違い日帰りの研修だったので、着いてすぐに坐禅を組むこととなった。昨年同様「無」でいることを意識して組んだ。しかし、途中で足が痛くなったり、運動会だろうか、その音が気になってたりと、邪念が入り、なかなか「無」でいることは難しかった。また、普段は時間の流れをととても早く感じるけど、何もしないという10分、15分という時間はとても長く感じられた。昼には和尚さんの法話を聞くことができた。和尚さんは、人と人の縁、物事すべて「させていただいている」、「おかげ」であると捉え、感謝し

て下さい、と。また、勉強については「なるようになる」。少しでも頑張ったら、その頑張った分、今よりもいい結果がでる、と話された。その話を聞いて、僕も勉強させてもらっていることに感謝して、今頑張れば、頑張った分だけより良い未来が待っているんだと思って受験勉強を頑張りたいと思った。坐禅研修は参加してみて始めて分かることばかりだと思うし、自分自身を見つめなおす良い機会になるので、ぜひ参加してみてください。

M君、ありがとう。

以上学志舎通信番外編の2つでした。

## 編集後記

これを書き始めたのが今月中旬。そしてやっと今日終わりそうです。

今日で冬プロの前半？が終わりました。いよいよ明日の正午、高橋尚子ロードにて、2回目の42.195 kmに挑戦します。

DVD で見ていただいたように、去年は5時間30分52秒。35キロを過ぎて、ふくらはぎのケイレンの連続で大失速。

今年は4時間30分を切るように練習をしてきました。これが皆さんの手元に届く頃には、もう結果が出ていますね。

さて、今年も色々なことがありました。いろんなイベントもやってきました。やりたいと思ったことは現実になっています。

今日も雨の中ですが、「餅つき体験」を

することが出来ました。田植え、刈り取り、餅つきと一連のイベントは数年前からやりたいと思っていたことでした。

### 強く思えば必ず叶う！

人は本気で思えば、どうすればそれが実現するか、真剣に考え実行します。例え困難にぶち当たってへこたれそうになっても、一生懸命やっていたら、必ず周りから、救いの手が差し伸べられます。神様は絶対に見ている…そう思います。

**真剣に思い、全力で実行することですよ！**  
そして教室に貼ってある、8つの幸せ言葉を言って下さい。

「マイナス言葉撲滅大作戦」実施以来、教室でマイナス言葉を使う生徒がめっきり減りましたね。いいことだと思います。

マイナスエネルギーを振りまく人の周りには、人は寄ってきません。おなじみ五日市剛さんの「ツキをよぶ魔法の言葉」の中で、イスラエルのおばあさんが言っています。ツキを吹き飛ばすのは「汚い言葉」「人の悪口」そして「人を怒ること」。特に怒りは「毒」を「強烈なマイナスエネルギー」を発します。そんな環境にいたら、生物はどうなるか…分かりますよね。

常に笑顔で、前向きの言葉を発する人の周りには、いつしか人が寄ってくるものです。苦しいときこそ笑顔、そしてプラスの言葉。来年も続けましょう。

今年1年、本当にありがとうございました。あなたの未来によきことが、雪崩の如く訪れますように！  
塾長 山田勝登